

二〇一〇年四二五 二六日 土曜礼拝・第一・第二礼拝
主題・『恵みと真理に満ちる』 説教者・野田勝利師

モットー 「形にしよう」(二〇〇一年)
聖書箇所：ヨハネによる福音書一章一四節

(聖書箇所)

1:14 言は肉となつて、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であつて、恵みと真理とに満ちていた。

(聖書解説)

A (言・肉) 《言(ロゴス)》は、もともと「神の知恵」や「神の力」を表し、ここでは、イエス・キリストそのものを指す。《肉となつて》は肉体を取つて誕生された、ということ。イエス・キリストの誕生は、「()」()とも呼ばれる。

B (受肉) 「受肉」とは、神がご自身を人間世界に示すために、具体的な「形」を通して、現れることである。その「形」こそがイエス・キリストであつた。

C (日常生活に宿る神) 《宿られた》は、別訳では「()を張った」。

D (栄光) 《栄光》とは、神の素晴らしさのこと。

E (真理) 《真理》とは、実証されうるもの、そして信賴に値するものを指す。それは堅固なものであり、決して変化しない。

F (恵み) 《恵み》とは、相手の条件や資格に関わらず、一方的に与えられる変わらない()の形である。

A ・受肉 C ・幕屋 F ・愛

メッセージポイント

キリスト者とは、()の中で
神の素晴らしさを「形」にしてしまつ
者である。

参照(マタイの福音書)「あなたがたは地の塩である。…14 あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。15 また、ともし火をともして升の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものをすべてを照らすのである。19 そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

「豊かな愛」と「 」 によって、神の存在を「形」にしてよび。

参照(ヨハネ1:9) わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。

参照(ヨハネ1:9) しかし、真理を行う者は光のほつへ来る。その行いが神に導かれてなされたこと(1)が明らかになるために。

参照(ペトロ2) あなたがたの信仰は、その試練によって本物と証明され、火で精錬されながらも朽ちるほかない金よりはるかに尊くて、イエスキリストが現れるときには、称賛と光栄と誉れとをもたらすのです。8 あなたがたは、キリストを見たことがないのに愛しく、今見なくても信じており、言葉では言い尽くせぬ喜びを口に満ちあふれています。6 それはあなたがたが信仰の美りとして魂の救いを受けているからです。